

市民対話集会を

開催しました



テーマは「三豊市のまちづくりについて」。
延べ200人を超える人が参加し、普段感じている疑問や地域の活性化に対する考え方など、今後のまちづくりの参考となる意見が数多く出されました。その中で、特に皆さんの関心の高かったものについて、ご紹介します。



農業の振興について

Q これからは農業人口が高齢化し、今よりもっと荒れ地が出てくると思います。貸し農園など、市がもっと積極的に取り組んではどうでしょうか。

A 小手先の動きではなく、抜本的な取り組みを。

耕作放棄地を含め、農業問題については「このまま今の状態を続けていけば、ジリ貧になってしまふ」と、強く感じています。現場で先進的な活動をしている人の意見を聞くなどして、ちよつと常識

から外れた新しい案がないか、関係する課で議論を重ねています。貸し農園は、とてもいい意見です。土地を借り上げる際などには、市としてお手伝いできることもあると思います。財田地区などで、さまざまな農業に取り組む動きがあるので、ぜひ成功事例を作って他の地域にも広げていければと思っています。

地方創生について

Q 地方創生が叫ばれていますが、市として具体的な考えはあるのですか。

年は一本化して「これが三豊の祭りだ！」というものが実現できれば良いと思っています。一度、試しにやってみて、やっぱり別々の方がいいならば、またそれぞれの地域でやればいい。そういった柔軟な考え方をします。現在、5つの祭りの実行委員会や地域の皆さんと、話し合いをしているところです。一本化の気運は高まっているので、10周年記念は、ぜひ一緒にやって、三豊をPRしてほしいと思います。

市の教育方針について

Q 市内に新しい小学校が建設されていますが、市はどんな子どもに育てたいと考えているのですか。

A メリハリがあり、困難に立ち向かえる子どもに育ててほしいと思います。

小・中学校においては、楽しむときは思いっきり楽しむ、勉強するときは集中して勉強する、会や



の祭りは地域で皆さんが楽しむのにはとてもいい祭りです。しかし、合併して10年、市外の人に三豊をアピールするためにも、来

A 大切なのは「私たちがやる！」という気概を持つことです。

三豊市では、人口減少対策を最重要課題として、雇用・定住・子育て・地域連携を柱に、持続可能なまちづくりを行っています。地域資源をうまく生かして、例えば、中山間エリアであれば農業と定住を組み合わせれば何かできないかということを考えています。働く場所を作って、地域に住む人を増やしていくということです。全国の自治体が同じようなことをしているので、厳しいところはありますが、民間活力を生かしながら積極的に取り組んでいきたいと考えています。

式など厳粛にしなければならぬときは厳粛にする、そういったメリハリのある、そして、困難に遭遇したときには、それに立ち向かえる子どもに育ててほしいと思います。

戦後ずっと、教育に関して行政は口出しをしてはいけないと言われていました。しかし、いじめなどのさまざまな問題から、首長も責任を持って教育に関与しなければならぬというふうに変わってきました。そこで、教育行政そのものについては、今までどおり教育長をトップに教育委員会が行い



ただ、今、地域づくりで決定的に不足しているのは、実行する人、プレイヤーです。皆さん「ああしたらどうか」「こうしたらどうか」と、いろいろな提案はしてくれませう。しかし、じゃあ誰がやるのと言ったときに誰もやる人がいないいい案はあっても、やる人がいないのが実情です。

いい思い付きがあったら実行しましょう。地方創生というのは、今までの時代と違って「私たちがやるんだ」という気概を持って臨んでいくことです。何か事を起こせば、必ずリアクションがあります。人口が減っているといつて諦めるのではなく、行政も市民も考え方を変えて、一緒に地域づくりに取り組んでいきましょう。

大綱の中では「教育の原点は家庭にある」ということを明確にしたいと考えています。家庭でのしつけについて関与するつもりはありませんが、子どもたちが社会に出て通用するような最低限のしつけについては、協議の中で発言をしたいと思います。また、道徳心や正義感など心の教育についても、家庭や地域と協力しながら取り組んでいきたいと思っています。

学校現場では、先生の負担を減らすべきだと考えています。今は昔と違って先生の雑用が増え、教科に集中できない状態です。子どもたちにしっかりと学力をつけるためにも、地域や行政が手伝いをすることで先生の負担を減らし、教科に集中できる環境をつくれぬいか、議論しています。

そして、ふるさとが好きな子どもに育てたいと思います。さまざまな体験をする中で、自分たちの地域、そして三豊市を心から愛せる、そんな子どもたちを育てることにも力を入れたいと思います。 ※詳しくはホームページをご覧ください。

